

## トーマツ 統合報告/サステナビリティ関連ニュース

## 統合報告アドバイザリー室

デロイト「IAS Plus」の「Sustainability reporting and integrated reporting」に掲載された記事を紹介する。

## IIRCが人的資源についてのレポートを公表

(2016年6月)

国際統合報告評議会 (IIRC) は、<IR> Creating Valueシリーズの一環として企業における人的資源に注目したレポート (「The value of human capital reporting」) を公表した。同レポートでは人的資源に関する報告の重要性を示し、人的資源の領域での発展及び試みが紹介されている。また、人的資源の管理及び報告の利点を説明している。これには統合報告を採用することから得られる利点の説明も含まれる。

## シンガポール証券取引所がサステナビリティ報告に関するガイドラインを公表

(2016年6月20日)

シンガポール証券取引所 (SGX) が正式に、サステナビリティ報告に関するガイドラインを採用した。これは、SGX上場会社すべてに2017年より「comply or explain」\*1を適用するものである。

## 香港証券取引所によるESGレポートニング・ガイドラインの改訂

(2016年6月22日)

香港証券取引所 (HKEX) はESGレポートニング・ガイドラインを改訂して、「comply or explain」の規定を適用した。これは、企業がステークホルダーに対して透明性を高め、説明責任を履行することを促すものである。GRI (グローバル・レポートニング・イニシアティブ) のG4ガイドラインをサステナビリティ関連のパフォーマンスに使用している

上場企業も多いことから、GRIがHKEXとG4ガイドラインとの関連及びギャップ分析を示した文書 (「Linking G4 and the HKEX ESG Reporting Guide」) を公表している。

## GRIの暫定最高責任者としてEric Hespeneide氏を任命

(2016年7月8日)

GRIは、最高責任者のMichael Meehan氏がGRIを去ることとなったため、暫定の最高責任者として元デロイトのパートナーのEric Hespeneide氏を任命したことを発表した。これによりHespeneide氏はグローバル・サステナビリティ・スタンダード・ボード (GSSB) の議長を降りる。

## FEEによる新しい企業報告のアプローチ「CORE&amp;MORE」への反応

(2016年7月19日)

欧州会計士連盟 (FEE) が新しい企業報告のアプローチ「CORE&MORE」\*2を提案している、2015年10月に公表したレポート (The Future of Corporate Reporting - creating the dynamics for change) に対して受領した回答をFEEのウェブサイトで公表している。デロイトは2016年7月13日に「Thinking Allowed - The future of corporate reporting」を公表し、企業報告の将来についての見解を述べ、FEEのレポートに対する回答として提出している。

## SASBが投資家のためのエンゲージメント・ガイドを公表

(2016年7月19日)

米国のサステナビリティ会計基準審議会 (SASB) は投資家のために業種毎のエンゲージメントのガイドダンス (「Engagement Guide for Asset Owners

\*1 「原則を実施するか、実施しない場合にはその理由を説明するか」 (『日本再興戦略』改訂2014) で使用されている訳)

\*2 「CORE報告書は、企業の事業についての主要な要素を十分に理解するために重要となる情報や主要な財務成績、企業のステークホルダーに関連性があり重要と思われる追加的な情報を含む。MORE報告書は、より詳細な情報を含む。例えば、財務諸表に関する詳細な開示や、CORE報告書で対象とするよりもより広範な追加情報である。」 (会計情報2015年12月号 「トーマツ 統合報告/サステナビリティ関連ニュース」 P25より)

& Asset Managers]) を公表した。同ガイドラインについて質問する際の手助けとなる。  
 スはアセット・オーナー及び資産運用会社がSASB  
 の基準を利用して企業に重要なサステナビリティ要

以上

『トーマツ統合報告/サステナビリティ関連ニュース』のお問い合わせ先：

ご意見・ご質問はホームページ ([http://www.tohmatsu.com/view/ja\\_JP/jp/services/consulting/report/index.htm](http://www.tohmatsu.com/view/ja_JP/jp/services/consulting/report/index.htm)) のお問い合わせフォームをご利用、又は、統合報告アドバイザリー室 (03-6213-1540) までご連絡ください。

## デロイト トーマツグループの概要

### ●有限責任監査法人トーマツ

主たる事務所 東京（品川）  
 その他事務所 国内31カ所  
 札幌、仙台、盛岡、新潟、さいたま、千葉、東京（丸の内・八重洲）横浜、長野、金沢、富山、静岡、名古屋、岐阜、三重、京都、大阪、奈良、和歌山、神戸、岡山、広島、松江、高松、松山、福岡、大分、熊本、鹿児島、那覇

連絡事務所 国内9カ所  
 福島、高崎、松本、福井、浜松、滋賀、北九州、長崎、宮崎

海外駐在員派遣 約50都市  
 デロイト (\*1) / ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、北京 ほか  
 \*1 デロイト トウシュ トーマツ リミテッドとそのメンバーファーム

### ●グループ総人員数 10,208名

(2016年3月末日現在)

#### 有限責任監査法人トーマツ

#### デロイト トーマツ税理士法人

#### コンサルティング等その他関係会社

パートナー	574名 <sup>*2</sup>
専門職	5,334名
事務職	658名
合計 <sup>*3</sup>	6,566名

パートナー	63名
専門職	596名
事務職	111名
合計	770名

パートナー	148名 <sup>*4</sup>
専門職	7名
コンサルタント	2,346名
事務職	375名
合計	2,876名

\*2 特定社員44名を含む

\*3 有限責任監査法人トーマツ 合計のうち、

公認会計士 3,229名  
 公認会計士試験合格者等(会計士補を含む) 1,307名

\*4 有限責任監査法人トーマツのパートナー4名を含む